

湘南医療大学

ティーチング・ポートフォリオ

大学名 湘南医療大学
所 属 保健医療学部 看護学科
名 前 嶋中 ますみ
作成日 2026年4月24日

1. 教育の責任

担当科目：

科目区分	科目名	必修	履修年次・時期
基盤科目	看護基礎ゼミ	必修	1年次・前期
基盤科目	看護倫理	必修	3年次・前期
応用科目	リハビリテーション看護論	必修	3年次・前期
応用科目	成人看護方法論Ⅰ	必修	2年次・後期
基盤科目	ヘルスアセスメント学Ⅱ	必修	2年次・後期
臨地実習	看護基盤実習	必修	1年次・前期
臨地実習	慢性期看護実習	必修	3年次・後期
臨地実習	統合実習	必修	4年次・前期

教育活動：1年生チューター

学務分掌：図書委員会

学科内担当：教務委員会 就職支援プロジェクトチーム

責務：科目担当においては、本学の建学の理念や学部、学科の教育目的・教育目標を基盤として、各科目における到達目標を達成できるように授業設計や教授方法を創造的に検討する。また、委員会活動を通して多領域の教員と協働し、学生の学修環境や支援体制を整えることによって、学生のより質の高い学びと成長につなげる。

2. 私の理念・目的

1) 私の理念

私は、「人を尊び、命を尊び、個を敬愛す」という本学の理念を基盤に、看護を学ぶ学生一人ひとりの個別性を尊重し、その内にある力を認識し最大限発揮できるように支援する教育をめざす。

看護の基盤として、確かなヘルスアセスメント能力と、個別性を踏まえた日常生活援助を実践できる判断力とスキルを確実に身につける。その上で、患者のもつ力を信じて引き出すかわりを追求し、いかなる状況においても倫理的視点を持って人の尊厳を守り抜く、看護専門職としての姿勢を養う。

また、他職種と協働しながら、自律性と創造性、そして変化に対して柔軟に対応できる「しなやかさ」を備えた看護専門職へと成長できるよう、対話と探究を重ねながらともに歩むことを私の教育理念とする。

2) 理念をもつに至った背景

私は 2026 年度から大学教育に携わることになったが、これまでは長年にわたり

臨床で看護師として働いてきた。2003 年にがん看護専門看護師の資格を取得し、がん医療、がん看護に携わる一方で、教育担当の管理職として看護師の現任教育、多職種教育を担ってきた。

がん看護専門看護師として、多くのがん患者さんとの出会いと別れを経験したが、その中で実感しているのは、患者さんは決して弱い存在ではないということである。自身の置かれた状況を受け止め、自分自身で考え、自分の人生を生ききる力を持っている。その姿は崇高で、傍らにいてことを許された看護師という職業の尊さを実感する。ただ、患者さん一人でそのプロセスを経ていくには困難な場面は多く、何らかの支援を必要とする。病を患った人（ここで人は患者と呼ばれる）は看護師に何を求めているのか、看護師の何に信頼を寄せるのかを考えた時に、まず患者さんの身体で起こっていることについて理解しているということが挙げられる（医療者としての専門性）。そして、病を持った人が生活する上での困難についてともに考えてくれるという点である（看護職の専門性）。私がヘルスアセスメント能力と日常生活援助を重視する理由がここにある。

もう一点、対象者が自身の持つ力を発揮し、自分らしく生きていく、そして生ききることを支援するために重要なのは看護師の倫理観である。私は、「看護は倫理そのものである」と捉えており、患者の尊厳を守るためにどう判断し行動するかを自分自身にも周囲にも問いかけてきた。看護師は日常倫理(everyday ethics)から医療倫理(medical ethics)・生命倫理(bioethics)にいたるあらゆる場面で倫理観が求められており、看護師の倫理的な姿勢が対象の安寧や尊厳を左右することにつながると言ってもよいのではないだろうか。

以上、私の教育理念の背景について述べてきたが、臨床で対象と関わる中で感じてきた看護専門職として大切なことを、看護の世界に興味を持ち、学ぶことを選択した学生たちに伝え、看護の未来につなげていきたいと考えている。

3. 教育の方法・戦略

1) 教授方法・授業の工夫

担当する科目は、オムニバス形式で担当する科目や複数の教員で担当する科目である。各科目の到達目標が達成できるように、目標の内容によって教授方法を検討する。

- ・知識習得が必要な内容に関しては、学生がこれまでに経験してきたことやイメージしやすい場面で例えるなど、身近な事象に置き換えて理解できるように伝え方や動画の活用など教授方法を工夫する。
- ・知識を応用して発展させていく内容に関しては、自身のアセスメントや判断を言語化した上で複数の学生でディスカッションする時間を設定するなど、自分自身

の理解や考えを明確化しながら他者とのディスカッションにより理解を深めたり、多様な考えを聞くことによって自身の捉え方や考えの深化につなげていく。

- ・さらに学修内容によって実際の臨床場面に結びつけやすいように、演習を取り入れ、模擬患者体験や援助者体験を通じて、体験場面での現象をより深く洞察し、検討し、学びが得られるようにする。総じて、学生が受け身にならずアクティブに学修できるように配慮する。

2) 授業以外の諸活動

- ・学科内教務委員会委員として学生の科目履修が適切に行われるようにサポートを行う。
- ・就職支援プロジェクトチームのメンバーとして、使命と役割を理解し、合同就職説明会の運営に携わる。
- ・1年生チューターとして担当学生 19 名が大学生活に適応し、学業とプライベートのバランスを考えた生活を送ることができるようにサポートする。また、4年後の国家試験合格に向けて学修習慣を確立させる。さらにチューター会議等を通じてチューター間の連絡を密に行い、2 キャンパス体制での支援体制の課題に対処する。

3) 自己研鑽

- ・関連学会（日本がん看護学会、日本緩和医療学会、がんサポーターブケア学会、エンドオブライフケア学会、日本高度看護実践学会、日本臨床倫理学会、日本看護倫理学会、日本看護管理学会など）に積極的に参加する。

4. 学習成果

今年度着任のため、現時点で教育活動を評価したものはないが、今後の授業においては、以下の方法で学習成果の評価を行う予定である。

- ・担当する授業終了時に学生が記載するリアクションペーパーの内容
- ・年2回実施する「授業評価アンケート」の内容
- ・事後課題や定期試験の結果

5. 改善のための努力

今年度着任のため、今年度の教育活動の評価を踏まえて次年度に向けた改善点を明確にしていく。

各授業や実習で日々の振り返りを行い、改善点を検討し改善する。

6. 今後の目標

短期目標

着任初年度である今年度は、教員としての基盤づくりの年と位置づけ、教育について学ぶとともに、大学組織の一員として求められる役割を理解し遂行するよう努める。

長期目標

- ・担当科目の学修成果を分析し、より効果的な教授方法について検討し、次年度への成果につなげる。
- ・組織の一員として役割を発揮し、組織の発展に寄与できる。

【添付資料】

資料：シラバス（看護基礎ゼミ、リハビリテーション看護論、看護倫理、看護基盤実習）

授業科目の名称		必修・ 選択の別	授業 形態	単位数 (時間数)	配当 年次	科目担当教員	実務経験の ある教員に よる科目
看護基礎ゼミ Seminar in Based Nursing		必修	講義	1単位 (30時間)	1年前期	川本利恵子、1年チューター教員	○
ナンバリングコード HNSO1		オフィスアワー		本科目に関する質問は、授業の前後及び別途公開するオフィスアワー一覧表に掲載された時間に受け付ける			
授業科目区分		卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
専門科目		DP1) 人間の命と個を尊重できる力 DP3) 援助的コミュニケーション力 DP4) チームで連携し協働する力					
発展科目							
授業概要	大学で学ぶために必要なスタディスキル、アカデミックスキルを修得する。大学生の現状や諸問題を題材に取り上げ、求められる学士力と学習方法について検討し、今後の大学生活の見通しを立てる。						
到達目標	1) 大学でのまなびに関する自分の興味や関心をもとにテーマを決める。 2) テーマに基づいて文献を調べてまとめ、発表資料(レジュメ)を作成し、発表できる。 3) 討論により多様な視点から学習を深めることができる。 4) 求められる学士力と大学で自ら学ぶ方法を実感できる。 5) 自ら学ぶ、学びあう学習方法の見通しを持つことができる。						
回	授業項目	授業内容 事前・事後学習 (予習・復習・課題等)				担当教員	
1	チューターガイダンス 4月7日(火) 5限目	本科目実施のための意義、および本学における学修の方法を理解する。チューターグループ内の役割を理解し、各役割を選択する。 基礎ゼミ実施の意義:川本学科長 教務委員ガイダンス: 片山典子、相澤恵子 ①チューター内リーダー、サブリーダー: 城戸滋里 ②国試対策委員: 倉橋悠子 ③大学祭委員: 日下桃子 ④オープンキャンパス委員: 相澤恵子 ⑤クリスマスキャロリング委員: 陶山克洋 学修計画表について: 塚原ゆかり 事前学習: シラバスに目を通しておく(30分) 事後学習: ガイダンス内容をまとめる。【課題①学修計画表を完成させ期日までに提出する。】(30分)				川本 学科長 片山典子 相澤恵子 城戸滋里 日下桃子 陶山克洋 塚原ゆかり 1年チューター	
2 3	4年生との共同ゼミ 4月10日(金) 3,4限目	大学生としての第一歩、科目の選択から履修、そして単位取得までの道のりを理解する。シラバスの見方、科目の選択など大学での学習準備を整える。 オリエンテーション: 城戸滋里 合同ゼミの意義: 川本学科長 ①4年生との交流を通して学生生活をイメージする ②大学生活を送るうえでやるべきことや意識すべきことが理解できる チューターグループ毎に課題に沿ったグループワーク1,2を実施し各講義室で発表会を実施する 課題1: 学生生活を送るうえでの「学び方」「生活習慣」 課題2: 日常生活・プライベートで大学生としてすべきこと 事前学習: 学生便覧に目を通しておく(30分) 事後学習: 共同ゼミ内容をまとめる(30分)正しく履修登録をし前期の準備を整える(30分)				川本学科長 城戸滋里 1年チューター 4年チューター	
4	大学で看護を学ぶ(1) 学修に必要なスキルを身につける 4月17日(金)3限目	本学の学修スキルのための方法を理解する。 ①manabaの活用 ②学生メールの活用 ③教員へのアクセス方法等 ⇒その場で実際にやってみる: 陶山克洋 事前学習: manabaと学生メールの再確認(30分) 事後学習: 講義資料と学習内容をノートにまとめる(30分)				陶山克洋 1年チューター	
5	図書館ガイダンス(1) 4月24日(金)3限目	大学生として学ぶための図書館の活用方法と文献検索方法について理解する。 教科書持参1. 講義: 深澤司書 ①著作権に関し気をつけること ②大学図書館紹介 ③図書館資料の検索方法 ④データベース利用概要と登録 ⑤本学図書館の文献表記 2. 基盤実習 I に向けて: 身だしなみの見直し: 城戸滋里 事前学習: テキストの1章、4章、5章、8章を読み自分の言葉で説明できる準備をする(30分) 事後学習: 講義資料と学習内容をノートにまとめる・ゼミ発表の準備(60分)				深澤司書 城戸滋里 1年チューター	
6	図書館利用と文献活用方法の実際 5月8日(金)3限目	図書館をどう活用するか、目的別本の読み方・探し方、引用文献・参考文献の記載法/文献検索の方法 各キャンパス毎の図書館見学: 各図書館司書による説明 ①館内利用方法及びマナーとルール 残ったグループは演習1、2を実施する 演習1: 医書.jpオールアクセス「登録」: 望月千夏子 演習2: 図書館クイズ 問題用紙配布⇒国会図書館カーリル・医学中央雑誌webで解答を抽出: 倉田慶子 まとめ: 倉田慶子 事前学習: テキストの1章、4章、5章、8章を読み自分の言葉で説明できる準備をする(30分) 事後学習: 講義資料と学習内容をノートにまとめる・ゼミ発表の準備(60分)				深澤司書 望月千夏子 倉田慶子 1年チューター	

7	大学で看護を学ぶ(2) 大学における看護教育の意義 5月15日(金)3限目	本学のDP・CP・APについて理解する。 本学のDP・CP・APとの関連などについて学んだ内容を踏まえ、グループで意見を交換し、さらに1年修了時になりたい自分をレポートにまとめる。 学生はシラバスを持参する。 看護とは・大学と専門学校の違い・本学のDP・CP・APを理解する:片山典子 ①本学のカリキュラムの構成 ②特色ある科目 ③グループワーク:シラバス内容から講義科目を1つ選び3つのPがどれかを話し合う 事前学習:本学看護学科のDP,CPを読んでおく(30分) 事後学習:本学のDP,CPから4年間の学修について考える(30分)	片山典子 1年チューター
8	講義や説明を理解するためには(1) 5月22日(金)3限目	聴く姿勢、ノートのとり方、レポートの書き方について学ぶ 個人⇒グループで教え合う体験、本日の学びの共有(担当教員毎)/発表テーマの検討 教科書持参 ①大学での講義の聴き方 ②ノートの取り方 ③レポート作成の要点や注意点 ④本学における生成AI利用に関する取り組み:陶山克洋 事前学習:テキストの1章〜5章に目を通しておく(30分) 事後学習:授業内容をノートにまとめる(30分)	陶山克洋 1年チューター
9 10	PROGテスト(1)(2) 東戸塚6月12日(金)1,2限目 茅ヶ崎6月12日(金)3,4限目	PROGテストを通して、自己のジェネリックスキル(どんな時も汎用的に役立つ能力・態度・志向)を理解する。 各キャンパス毎にテスト実施 PROGの手引きで説明:塚原ゆかり・嶋中ますみ ①プログテストの実施:リテラシー・コンピテンシー プログテスト終了後zoomでつなぎ 教科書持参 ②初の定期試験に向けての方法・注意点:相澤恵子 事前学習:テキストの10章、学生便覧に目を通しておく(30分) 事後学習:授業内容をノートにまとめる(30分)	塚原ゆかり 嶋中ますみ 相澤恵子 1年チューター
11	人の健康を守る仕事につくために(1) 6月19日(金)3限目	医療安全を中心に、人の命や健康を守る職業につくために必要な基礎的知識を得る 学生は母子手帳を持参する 学生支援委員会とのコラボ企画 予防接種について:渡部節子、日下桃子 1予防接種:ワクチンとは ②医療従事者が予防接種を行う意義 ③予防接種の対象となる4つの感染症 ④健康診断結果から抗体価を確認してみよう 事前学習:母子手帳を準備する。母子手帳を見て自身のワクチン接種歴を確認する(30分) 事後学習:講義資料と学習内容をノートにまとめる・ゼミ発表の準備(60分)	渡部節子 日下桃子 小野寺悠斗 1年チューター
12	テキスト・文献理解するとは(1) 6月26日(金)3限目	教科書持参 教科書や文献の構造を把握しながら読む 個人⇒グループで教え合う体験、本日の学びの共有(担当教員毎)/発表テーマの検討 講義:相澤恵子 ①大学における文献の読み方を理解する ②文章の構成を理解する ③場面に応じた文章の読み方を理解する ④例文を要約する(個人) ⑤要約を共有する(グループ) 事前学習:テキストの2章、3章を読み自分の言葉で説明できる準備をする(30分) 事後学習:講義資料と学習内容をノートにまとめる・ゼミ発表の準備(60分)	相澤恵子 1年チューター
13	テキスト・文献理解するとは(2) 7月3日(金)3限目	教科書持参 教科書や文献の構造を把握しながら読む 個人⇒グループで教え合う体験、本日の学びの共有(担当教員毎)/発表テーマの検討 講義:倉橋悠子 ①タイトル ②要旨 ③目的 ④方法 ⑤結果 ⑥考察 ⇒例題文献を熟読する(個人・グループ) 指定文字数内に文献を①〜⑥に要約し発表する(【課題②個人レポート】・【課題③グループ発表】) 事前学習:テキストの2章、3章を読み自分の言葉で説明できる準備をする(30分) 事後学習:講義資料と学習内容をノートにまとめる。【課題②③作成したレポートを期日までに提出する】(60分)	倉橋悠子 1年チューター
14	人の健康を守る仕事につくために(2) 7月10日(金)3限目	医療安全を中心に、人の命や健康を守る職業につくために必要な基礎的知識を得る 講義:喫煙・飲酒がもたらす身体的・社会的影響:倉田慶子、日下桃子 グループワーク(ワールドカフェ方式) ①喫煙の問題とは何か ②飲酒の問題とは何か ③医療従事者としてできることは何か 事前学習:身の回りで話題になっている医療に関連した事故に対する情報を得ておく(30分) 事後学習:講義資料と学習内容をノートにまとめる・ゼミ発表の準備(60分)	倉田慶子 日下桃子 1年チューター
15	PROGテストの講評 7月17日(金)3限目	PROGテストの結果の見方を理解し、今後の大学生としての生活に活用する 事前学習:テキストの6章、7章を読み自分の言葉で説明できる準備をする(30分) 事後学習:プログテスト結果の見方を理解し、自分の強みからさらに強化する方法を考える(30分) 講義資料と学習内容をノートにまとめる(30分)	(株)リアセック 1年チューター

評価	【課題①学修計画表20点】、【課題②個人レポート30点】、【課題③第13回グループ発表の内容20点】、【課題④毎回のリアクションペーパーの提出30点】
課題に対するフィードバックの方法	提出物については全体の講評を授業内で学生に伝える。
教科書	世界思想社編集部編(2024)大学生学びのハンドブック 6訂版, 世界思想社 ISBN:9784790717911
参考図書など	適宜紹介する。
アクティブ・ラーニング	大学での学びの興味・関心からテーマを決める。グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーションを行う。
実務経験のある教員による授業	チュータ教員各位の臨床分野での経験に基づく講義を行う。
留意事項	全ての科目の基となる科目です。必ず専用のノートまたはファイルを作成してください。これまでの学習方法との共通点・相違点を意識しながら、自らの成長を記録に残し、成長を実感しましょう。

授業科目の名称		必修・ 選択の別	授業 形態	単位数 (時間数)	配当 年次	科目担当教員	実務経験の ある教員に よる科目
リハビリテーション看護論 Rehabilitation Nursing		必修	講義	1単位 (30時間)	3年前期	渡邊真理・内藤亜由美・伊藤ふみ子・ 佐々木千佳・清水奈緒美・三堀いずみ	○
ナンバリングコード	HNSD2	オフィスアワー		本科目に関する質問は、授業の前後及びメールで受け付ける			
授業科目区分		卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
専門科目		DP1)人間の命と個を尊重できる力 DP4)チームで連携し協働する力 DP5)安全を保障する力					
応用科目							
授業概要	リハビリテーションの理念を理解し、日本や海外におけるリハビリテーション看護について、歴史的変遷をふまえて基本的知識と技術を学修する。リハビリテーションチームの特徴とチームにおける看護の役割・機能について学修する。						
到達目標	1) リハビリテーションの理念を説明できる。 2) 日本や海外におけるリハビリテーション看護の歴史的変遷について説明できる。 3) リハビリテーション各期における看護の基本的知識と技術について説明できる。 4) 特徴的な生活機能障害をもつ人の対象に応じた援助方法を説明できる。 5) リハビリテーションチームの特徴とチームにおける看護の役割・機能について説明できる。						
回	授業項目	授業内容 事前・事後学習（予習・復習・課題等）					担当教員
1 4/13 (月) 1限	リハビリテーション看護の展開に必要な概念と理論	リハビリテーションの理念 欧米と日本のリハビリテーションの歴史、ノーマライゼーション、ADL、IADLの理解、リハビリテーション看護に活用できる理論 事前学習(30分):リハビリテーション看護改訂第3版の該当部分を読む 事後学習(30分):講義資料等を復習する					渡邊 真理
2 4/20 (月) 1限	経過別にみるリハビリテーション看護① 急性期	回復過程各期におけるリハビリテーション看護(急性期) 事前学習(30分):リハビリテーション看護改訂第3版の該当部分を読む 事後学習(30分):講義資料等を復習する					伊藤ふみ子
3 4/27 (月) 1限	経過別にみるリハビリテーション看護②回復期・生活期	回復過程各期におけるリハビリテーション看護(回復期・生活期) 事前学習(30分):リハビリテーション看護改訂第3版の該当部分を読む 事後学習(30分):講義資料等を復習する					伊藤ふみ子
4 4/30 (木) 1限	経過別にみるリハビリテーション看護③終末期	回復過程各期におけるリハビリテーション看護(終末期):緩和ケアとリハビリテーション 事前学習(30分):がん看護(医学書院)の該当部分を読む 事後学習(30分):講義資料等を復習する					三堀いずみ
5 5/11 (月) 1限	経過別にみるリハビリテーション看護④がん	回復過程各期におけるリハビリテーション看護(終末期):がんリハビリテーション 事前学習(30分):がん看護(医学書院)の該当部分を読む 事後学習(30分):講義資料等を復習する					渡邊 真理
6 5/18 (月) 1限	生活機能障害とリハビリテーションと看護①脳卒中	運動機能障害のある人へのリハビリテーション看護(脳卒中) 事前学習(30分):リハビリテーション看護改訂第3版の該当部分を読む 事後学習(30分):講義資料等を復習する					三堀いずみ
7 5/25 (月) 1限	生活機能障害とリハビリテーションと看護②高次機能障害	高次機能障害のある人の看護(アセスメントと看護の実際) 事前学習(30分):リハビリテーション看護改訂第3版の該当部分を読む 事後学習(30分):講義資料等を復習する					伊藤ふみ子
8 6/1 (月) 1限	生活機能障害とリハビリテーションと看護③脊髄損傷	脊髄損傷のある人の看護(アセスメントと看護の実際) 事前学習(30分):リハビリテーション看護改訂第3版の該当部分を読む 事後学習(30分):講義資料等を復習する					伊藤ふみ子
9 6/8 (月) 1限	生活機能障害とリハビリテーション看護④排泄障害の病態と看護	排尿障害と排便障害の基本的知識と看護 事前学習(30分):消化器(医学書院)の該当箇所を読む 事後学習(30分):講義資料等を復習する					内藤亜由美
10 6/15 (月) 1限	生活機能障害とリハビリテーション看護⑤ストーマリハビリテーション	ストーマリハビリテーションの看護 事前学習(30分):消化器(医学書院)の該当箇所を読む 事後学習(30分):講義資料等を復習する					内藤亜由美
11 6/22 (月) 1限	生活機能障害とリハビリテーション看護⑥嚥下障害	嚥下摂食障害のある人の看護① 嚥下障害のアセスメント 事前学習(30分)リハビリテーション看護改訂第3版 事後学習(30分):講義資料等を復習する					嶋中ますみ
12 6/29 (月) 1限	生活機能障害とリハビリテーション看護⑦嚥下訓練と看護	嚥下摂食障害のある人の看護② 嚥下訓練の実際と看護 事前学習(30分)リハビリテーション看護改訂第3版 事後学習(30分):講義資料等を復習する					嶋中ますみ

13 7/6(月) 1限	地域包括ケアシステムにおけるリハビリテーション看護	地域包括ケアシステムにおけるリハビリテーション看護の実際 事前学習(30分):リハビリテーション看護改訂第3版の該当部分を読む 事後学習(30分):講義資料等を復習する	清水奈緒美
14 7/13(月) 5限	施設内リハビリテーションチーム医療	施設内リハビリテーションにおける多職種連携 事前学習(30分):リハビリテーション看護改訂第3版の該当部分を読む 事後学習(30分):講義資料等を復習する	嶋中ますみ
15 7/27(月) 1限	ピアサポート	障害をもつ人々の心理的支援:ピアサポートの意義 事前学習(30分):「障害をもつ人々の心理的支援であるピアサポート(患者会)」にどのようなものがあるか調べておく。 事後学習(30分):講義資料等を復習する	内藤亜由美

評価	筆記試験70%、課題等の提出物30%
課題に対するフィードバックの方法	課題に対して、適宜フィードバックを行う
教科書	1. 看護学テキストNiCEリハビリテーション看護/酒井郁子他/南江堂/改訂第3版/ISBN:9784524246298【全講義で使用】 2. 系統看護学講座 別巻がん看護学/小松浩子他./医学書院/第3版/ISBN:9784260042161【第4・5回講義で使用】 3. 系統看護学講座 成人看護学⑤消化器/南川雅子他./医学書院第/16版, ISBN:9784260053006【第9・10回講義で使用】
参考図書など	適宜紹介する。
アクティブ・ラーニング	適宜、事例を用いて、グループワークやディスカッションを行う。
実務経験のある教員による授業	回復期リハビリテーション病棟を有する病院での臨床経験を活かして、リハビリテーション看護の基本的知識やアセスメントの方法を講義する。
留意事項	本科目は、すべての患者に必要なとされるリハビリテーション看護の基本的な知識を獲得するものである。臨地実習時にも応用できるものであるため、主体的に取り組んで欲しい。

授業科目の名称		必修・ 選択の別	授業 形態	単位数 (時間数)	配当 年次	科目担当教員	実務経験のある 教員による 科目
看護倫理 Nursing Ethics		必修	講義・演習	1単位 (30時間)	3年前期	清水奈緒美、勝井恵子 伊藤ふみ子、岡 多恵、嶋中ますみ、三堀いずみ	○
ナンバリングコード	HNSB2	オフィスアワー		本科目に関する質問は、授業の前後、昼休み及び別途公開するオフィスアワー一覧表に記載されている時間帯に受け付ける			
授業科目区分		卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
専門科目		DP1)人間の命と個を尊重できる力 DP2)エビデンスに基づく実践力 DP4)チームで連携し協働する力					
基盤科目							
授業概要	看護の職業倫理を看護の実践に結びつけて学修する。看護の歴史と看護の職業倫理、人間の尊厳、人権、アドボカシー、正義の倫理、ケアの倫理など看護倫理の基本概念について学ぶとともに、看護師の倫理綱領や倫理の諸規定とその変遷、活用方法について学修し、医療をめぐる倫理問題で看護が負うべき責任について考察する。また遭遇しやすい倫理的ジレンマの事例について、アクティブ・ラーニングを活用し、最良の判断を導く過程について学修する。以上の学びを通して、生涯にわたり倫理的感性を培っていく内容とする。						
到達目標	1) 看護倫理となる基本的知識と倫理の諸規定とその変遷を説明できる。 2) 看護倫理のアプローチについて説明できる。 3) 看護の職業倫理として基本概念について説明できる。 4) 看護師の倫理綱領とその活用方法について説明できる。 5) 医療をめぐる倫理問題で看護が負うべき責任について考察できる。 6) 遭遇しやすい倫理的ジレンマの事例について、最良の判断を導く過程について説明できる。						
回		授業項目	授業内容 事前・事後学習（予習・復習・課題等）			担当教員	
1	4/9 (木) ③	看護倫理とは	看護倫理の基礎となる知識について学修する。 事前学習(15分):ガイダンス資料参照 事後学習(15分):復習・課題学習を行い単元目標の達成状況を確認する			勝井恵子	
2	4/9 (木) ④	看護倫理と実践・看護倫理綱領について	看護倫理と実践、看護倫理綱領について学修する。 事前学習(15分):ガイダンス資料参照 事後学習(15分):復習・課題学習を行い単元目標の達成状況を確認する			勝井恵子	
3	4/9 (木) ⑤	看護倫理のアプローチについて	生命倫理の原理・原則、倫理的なジレンマの解決にむけた分析・思考のプロセス等を学修する。 事前学習(15分):ガイダンス資料参照 事後学習(15分):復習・課題学習を行い単元目標の達成状況を確認する			勝井恵子	
4	A 4/17 (金) ③	看護実践上の倫理的概念＆倫理的課題へのアプローチ(場面①)について	【体験の演習】看護場面における倫理を事例を検討して理解する。 事前学習(15分):ガイダンス資料参照 事後学習(15分):復習・課題学習を行い単元目標の達成状況を確認する			清水奈緒美、 岡 多恵、 嶋中ますみ 三堀いずみ	
5	B 4/24 (金) ③	看護実践上の倫理的概念＆倫理的課題へのアプローチ(場面①について)	【個人ワーク】看護場面における倫理を教材事例を検討して理解する。 事前学習(15分):講義資料を読み返す 事後学習(15分):感じ考えたことを整理する			清水奈緒美、 岡 多恵、 嶋中ますみ 三堀いずみ	
6	5/8 (金) ③	看護実践上の倫理的概念＆倫理的課題へのアプローチ(場面①について)	【グループワーク】看護場面における倫理を教材事例を検討して理解する。 事前学習(15分):講義資料を読み返す 事後学習(15分):感じ考えたことを整理する			清水奈緒美、 岡 多恵、 嶋中ますみ 三堀いずみ	
7	5/8 (金) ④	看護実践上の倫理的概念＆倫理的課題へのアプローチ(場面①について)	【グループワーク・発表準備】看護場面における倫理を教材事例を検討して理解する。 事前学習(15分):講義資料を読み返す 事後学習(15分):感じ考えたことを整理する			清水奈緒美、 岡 多恵、 嶋中ますみ 三堀いずみ	
8	5/15 (金) ③	看護実践上の倫理的概念＆倫理的課題へのアプローチ(場面①について)	【グループワークの発表】看護場面における倫理を教材事例を検討して理解する。 事前学習(15分):講義資料を読み返す 事後学習(15分):感じ考えたことを整理する			清水奈緒美、 岡 多恵、 嶋中ますみ 三堀いずみ	
9	5/22 (金) ②	看護実践上の倫理的概念＆倫理的課題へのアプローチ(場面②について)	【個人ワーク・グループワーク】実習体験を想起し看護場面における倫理を検討して理解する。 事前学習(15分):講義資料を読み返す 事後学習(15分):感じ考えたことを整理する			清水奈緒美、 岡 多恵、 嶋中ますみ 三堀いずみ	
10	5/22 (金) ③	看護実践上の倫理的概念＆倫理的課題へのアプローチ(場面②について)	【グループワーク発表準備】実習体験を想起し、看護場面における倫理を検討して理解する。 事前学習(15分):講義資料を読み返す 事後学習(15分):感じ考えたことを整理する			清水奈緒美、 岡 多恵、 嶋中ますみ 三堀いずみ	
11	5/22 (金) ④	看護実践上の倫理的概念＆倫理的課題へのアプローチ(場面②について)	【グループワーク発表】実習体験を想起し、看護場面における倫理を検討して理解する。 事前学習(15分):講義資料を読み返す 事後学習(15分):感じ考えたことを整理する			清水奈緒美、 岡 多恵、 嶋中ますみ 三堀いずみ	

12	6/26 (金) ③	看護実践上の倫理的概念&倫理的課題へのアプローチ (場面③について)	【グループワーク・発表準備】意思決定支援に関する教材事例から看護倫理を理解する。 事前学習(15分):講義資料を読み返す 事後学習(15分):感じ考えたことを整理する	清水奈緒美、 岡 多恵、 嶋中ますみ 三堀いずみ
13	6/26 (金) ④	看護実践上の倫理的概念&倫理的課題へのアプローチ (場面③について)	【グループワークの発表】意思決定支援に関する教材事例から看護倫理を理解する。 事前学習(15分):講義資料を読み返す 事後学習(15分):感じ考えたことを整理する	清水奈緒美、 岡 多恵、 嶋中ますみ 三堀いずみ
14	7/3 (金) ③	臨地実習における倫理	【グループワーク】臨地実習における倫理を検討して理解する。 事前学習(15分):講義資料を読み返す 事後学習(15分):感じ考えたことを整理する	清水奈緒美、 伊藤ふみ子 岡 多恵、 嶋中ますみ 三堀いずみ
15	7/3 (金) ④	看護実践における倫理的課題と対応についてのまとめ	【個人ワーク】看護倫理の授業から学んだことを言語化する。 事前学習(15分):講義・教科書、グループワーク等から学んだことを振り返る。 事後学習(15分):全学修内容を振り返り、到達目標の達成状況を確認する。	清水奈緒美、 岡 多恵、 嶋中ますみ 三堀いずみ

評価	相互評価・課題レポート
課題に対する フィードバックの方法	課題レポート後はフィードバックする。
教科書	系統看護学講座 別巻 看護倫理/宮坂道夫他/ 医学書院/改訂第3版/ ISBN978-4-260-05299-3
参考図書など	①ケアの本質/ミルトン・メイヨロバ著/田村真・岡野直之訳/有る山出版/ISBN 978-4940909117 ②看護倫理/アン・J. デービス他/前原澄子監修/医学映像教育センター/ISBN978-4862431851 ③看護倫理学・看護実践における倫理的基盤/松本光子編集/マールヒロカワ/ISBN978-4-86174-037-4
アクティブ・ラーニング	グループワーク、プレゼンテーション
実務経験のある 教員による授業	
留意事項	看護学を学ぶ上で看護倫理は大事な科目です。看護実践する上で疑問に思ったこと、考えたことをアサーティブに発言していくことが求められます。図書館にある書籍(倫理、哲学書)や配布資料を活用し事前・事後学習を十分にを行い、グループワークによるディスカッションに積極的に取り組んでください。

授業科目の名称	必修・ 選択の別	授業 形態	単位数 (時間数)	配当 年次	科目担当教員	実務経験の ある教員に よる科目
看護基盤実習Ⅰ Clinical Practice in Fundamental NursingⅠ	必修	実験・実習	2単位 (90時間)	1年通期	松月みどり、松島正起、ラウ優紀子、牛田貴子、城戸滋里、相澤恵子、三ツ井圭子、佐々木千佳、碓井瑠衣、松永雄至、安部仁美、萩原裕子、他看護学科教員	○
ナンバリングコード	HNSF1	オフィスアワー 本科目に関する質問は、授業の前後及びメールで受け付ける				
授業科目区分		卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連				
専門科目	DP1)人間の命と個を尊重できる力 DP2)エビデンスに基づく実践力					
臨地実習						
授業概要	地域で生活する様々な発達段階にある人との交流を通して、コミュニケーションによる関係性構築を学ぶ。併せて、地域で生活している人々の生活環境の特徴を知り、生活環境が健康に与える影響について、看護の視点から理解する。					
到達目標	1)地域で生活する人々の生活と健康について理解する。 2)看護の対象となる人と関係性を築くことができる。 3)医療・福祉の場で働く人々との協働・連携を通して、看護職の役割を理解できる。 4)チームの一員として積極的に役割を果たすことができる。 5)看護職を目指す学生として、自覚ある行動がとれる。 6)自己の学修行動を振り返り、看護職として成長していくための課題をみつけることができる。					
授業の進め方	1. 実習内容(予定) 1) 臨地実習ガイダンスならびに看護基盤実習Ⅰオリエンテーション 実習の概要及び実習の進め方 2) 実習前提学習(1日間) (1)コミュニケーション演習 (2)感染管理演習 3) 地域を知る実習(3日間) (1)住環境、移動手段、商店、公園、公共施設、医療・福祉機関などの生活環境を実際に見学し、地域に暮らす人々との交流を通して地域住民の普段の生活の場や生活を把握する。 (2)把握した生活環境の特徴と、健康状態・健康に関する行動との関連を考える。 (2)チームでの学びをプレゼンテーションし、意見交換を行う。 4) 病院実習(3日間) 5) 介護施設実習(3日間) 4)5)共通 (1)各実習施設よりオリエンテーションや、看護活動の場の見学を通して、施設の目的、対象者の特徴、生活環境の特徴を理解する。 (2)生活環境の特徴及び対象者の生活および健康に与える影響を考える。 (3)看護の対象となる人とのコミュニケーションを通して、関係性を構築する。 (4)対象者の生活背景と現在の生活を把握し、入院・入所により生じる生活の変化を捉え、対象者への影響について考える。 (5)実習を通して、多職種による活動の実際を知る。 (6)毎日、実習目標に沿ってカンファレンスを行い、気づきや疑問を共有し、看護の視点から考える。 ※「地域を知る実習」、「病院実習」、「介護施設実習」は、ローテーションにより行う。 2. 実習期間 2週間(2026年5月27日(月)～6月7日(金)) ※臨地実習ガイダンスならびに看護基盤実習Ⅰオリエンテーションは、実習開始前に行う。 3. 実習施設(予定) 1) 病院実習 ふれあい東戸塚ホスピタル、ふれあい鶴見ホスピタル、ふれあい横浜ホスピタル、康心会汐見台病院 湘南東部総合病院、茅ヶ崎中央病院、ふれあい鎌倉ホスピタル、ふれあい平塚ホスピタル 2) 介護施設実習 介護老人保健施設ふれあいの百合、介護老人保健施設湘南シルバーガーデン、介護老人保健施設ふれあいの桜、 介護老人保健施設ヒルズ東戸塚、介護老人福祉施設ふれあいの泉 介護老人保健施設ふれあいの丘、介護老人保健施設ふれあいの渚、介護老人保健施設成和ナーシングプラザ、 介護老人福祉施設ふれあいの麗寿、介護老人福祉施設ふれあいの森					

評価	実習評価表に基づき、実習目標の達成度、記録内容、実習態度、カンファレンス参加状況を総合的に判断する。
課題に対する フィードバックの方法	実習要項を参照
教科書	なし
参考図書など	適宜紹介する
アクティブ・ラーニング	実習
実務経験のある 教員による授業	担当教員は看護師としての臨床分野の経験を活かした実習指導を行う。
留意事項	入学後はじめての実習科目である。看護学生として基本的な身嗜みを整え、理想的な実習態度で臨む。実習要項を熟読し、健康管理・時間管理を適切に実施する。